

三村邦雄氏（三村松社長） 広島市立大学で広島仏壇についての講義を行う



12月9日 広島市立大学で広島伝統産業である広島仏壇に関する講義を行う三村邦雄三村松社長

三村松（広島）の三村邦雄社長は十二月九日、産業と技術 広島伝統



講義は画像や映像を交えて行われた

産業Ⅲ（仏壇）というテーマでの講義を行い、二百五十名の学生が受講した。この講義は広島市立大学の総合科目（選択必修科目）として設けられた

もので、地域における産業振興に対する大学、行政の役割についての理解を深めることを目的とするもの。三村氏は広島仏壇の製造や職人について画像や映像を交えつつ講義を進め、最後の質疑応答では学生から多数の質問が寄せられ、充実した講義となった。



講義は学部の選択必修科目で205名の学生が受講 講義終了後には多数の質問も出て、伝統産業としての広島仏壇への関心の高さがうかがえた